

質 問 回 答 書

2021年12月24日

「フィリピン国マニラ大首都圏鉄道開発マスタープラン策定プロジェクト」

(公示日:2021年12月15日/調達管理番号:21a00949)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	企画競争説明書 16 頁 第3章 特記仕様書案 第2条 プロジェクトの背景 本文 企画競争説明書 18 頁 第3条 プロジェクトの概要 5. マスタープラン策定の対象地域	Mega Manila (50,525 km ²) と Greater Manila (8,099 km ²) の定義が逆転しているように見受けられました。本調査の対象地域 GCR の定義については現地側も同様の認識か、確認させてください。	GCR の定義についてはフィリピン側も企画競争説明書と同様の認識です。なお、GCR は Greater Capital Region (マニラ大首都圏) です。
2	企画競争説明書 17 頁・19 頁 第3章 特記仕様書案 第3条 プロジェクトの概要 3. 活動の概要 活動2: アジア開発銀行 (ADB) が DOTr と実施する交通データ収集、交通量調査、交通需要予測モデル策定の活動に参加し、レビューや分析を実施する。 企画競争説明書 19 頁 (3) アジア開発銀行との役割分担 本プロジェクトは、R/D に記載のとおり(注: R/D の 3.Activity の Activity 2)、アジア開発銀行	左記、交通データ収集、交通量調査、交通需要予測モデル策定について確認させてください。 1) 調査対象範囲は約 8000 km ² であり、移動距離が 50 km を越える場合もありうる。この場合、日常的な都市交通行動に加え、非日常的な交通行動(特に長距離移動)が観察されるため、人流にかかる交通モデルは2つのモデル(都市交通モデル、地域交通モデル)を合わせた構造になることが想定される。加えて、モデルの一部には物流ないしはトラック等輸送車両の OD も必要である。	交通データ収集、交通量調査、交通需要予測モデル策定については、アジア開発銀行 (ADB) が実施予定です。他方、現時点で ADB による調査が開始されていないため、ADB 調査の詳細についてお答えすることは困難ですが、ご指摘の JICA 調査団として必要なデータやモデル策定方法等については、「フィリピン運輸省、ADB、JICA 及び本件受注者から構成されるワーキンググループ」(企画競争説明書第6条(3)参照)にて議論することを想定しています。

	<p>(ADB)が既存交通データの収集、交通量調査、交通需要予測を実施予定である。ADB が実施予定のこれらの活動については、日本側専門家として、随時適切な協力をを行い、助言や需要予測フレームワーク開発などの支援を行う。具体的には、フィリピン運輸省、ADB、JICA、及び本件受注者から構成されるワーキンググループ（特に、交通量調査の実施方法や、交通需要予測モデルの構築等に関して議論することが期待される）の設置を想定していることから、本ワーキンググループに参加し、随時、助言や必要となるデータの収集支援、需要予測モデルの開発支援等を実施する。</p> <p>配付資料 本プロジェクト討議事録(R/D)(案)18頁 「ANNEX6 Demarcation Chart」内の記載</p>	<p>2)JICA 調査団が予測を行い技術移転もすることを想定するならば、予測モデルに対応した調査票設計が必要である。また、鉄道マスタープランを策定する過程でモデル(複数ケースの需要予測作業)を行うが JICA 調査団がモデルを所有(できれば設計・構築も)していないと柔軟な対応ができない(ADB/DOTr の交通モデラーに On-call で委託するようなアレンジは困難)。</p> <p>3)ADB の調査は携帯電話 GPS 情報に限られると見受けられる。GPS データは複数業者から購入可能であるがデータの内容によって価格が異なり、ADB の予算でどの程度のデータを購入するのか不明。また、調査対象地域内の商用車・トラックなどの動きはこのデータからだけでは補足できないと懸念される(R/D 案 ANNEX6)。</p> <p>4)ADB/DOTr 調査の予定・調査スコープが不明な段階で、技術提案が困難。</p> <p>5))GCR を対象にした戦略交通モデル(4 段階推計モデル)を新たに構築するのであれば、GCR を対象として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 世帯訪問・聞き取り調査(サンプル率 2%程度) ● 交通量調査(スクリーン、コードン、ミッ 	
--	--	--	--

		<p>ドブロック、交差点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ターミナルでの旅客 OD インタビューとカウント ● 物流調査、物流施設調査 <p>などが必要で、かつ JICA 調査団がモデルを構築する必要性が高い。</p> <p>以上の観点から、ADB による成果が満足いくものとなるか、ある程度の見通しがあればご教示ください。</p>	
3	<p>企画競争説明書 17 頁 第3章 特記仕様書案 第3条 プロジェクトの概要 4. 本プロジェクトにおける調査項目 ① 都市交通及び都市開発に関する現状把握と分析 ⑥ 土地利用状況の確認</p> <p>企画競争説明書 23 頁 第7条 業務の内容 (2) 既存の鉄道政策、鉄道計画等に関するレビュー</p>	<p>土地利用調査(OD の推計に必要な建物床面・高さデータの購入を含む)は再委託可能でしょうか。団員構成に「土地利用計画」ポジションの追加を提案いたします。</p>	<p>再委託可能です。業務従事者の構成については、業務内容等を考慮の上、最適だと考える構成(及び格付)をプロポーザルで提案して下さい。</p>
4	<p>企画競争説明書 17 頁 第3章 特記仕様書案 第3条 プロジェクトの概要 4. 本プロジェクトにおける調査項目 ⑧ 交通関連データの収集(交通調査含む)</p>	<p>ADB が行う需要予測ならびに関連調査と、調査団のデマケーションを教えてください。</p>	<p>ADB が交通量調査及び需要予測モデル構築を行い、JICA 調査団は需要予測に関するワーキンググループに参加し、必要となるデータの収集支援、需要予測モデルの開発支援及び助言等を実施することを想定しています。</p>

			デマケーションの詳細については、R/D(案)のANNEX6をご参照ください。
5	企画競争説明書 19 頁 第3章 特記仕様書案 第6条 実施方針及び留意事項 (1)フィリピン国運輸省の自主性・自立発展性の確保について	技術移転に必要とされるコンピュータ、ソフトウェア、ソフトウェアの使用法にかかるプロバイダーのトレーニングサービス費などは本調査の予算に含まれるでしょうか。	含みます。必要に応じて見積書に計上して下さい。
6	企画競争説明書 19 頁 第3章 特記仕様書案 第6条 実施方針及び留意事項 (3)アジア開発銀行との役割分担	ADB 調査のスケジュールを概ねご教示いただけますでしょうか。	ADB による交通調査等は、現時点で 2022 年 1 月～6 月を想定していますが、新型コロナウイルスの影響等により遅延することも想定されます。
7	企画競争説明書 19 頁 第3章 特記仕様書案 第6条 実施方針及び留意事項 (4)詳細計画策定調査の実施	(4)はインセプションレポートの内容に関連するが、業務開始後 4 か月目に調査内容が概ね確定されることとなる。その時点で業務内容の変更が想定され、インセプションレポート(改訂版)の作成を想定しているでしょうか。	インセプションレポート(改訂版)の作成は想定していません。
8	企画競争説明書 20 頁 第3章 特記仕様書案 第6条 実施方針及び留意事項 (5)「開発途上国における都市鉄道プロジェクト・課題別支援委員会」	交通需要予測、交通調査についての対応が仮に出た場合、ADB 調査にて対応されるとの理解でよろしいでしょうか。	対応が必要な事項の内容によりますが、原則としてご理解のとおりです。
9	企画競争説明書 20 頁 第3章 特記仕様書案 第6条 実施方針及び留意事項 (6)DX(デジタル・トランスフォーメーション)の活	携帯電話の位置情報を使った調査が例示されていますが、 1)この方法で得られる OD では旅行目的(trip purpose)が分からないため、通常の戦略交通モ	ご提案頂くことは可能です。なお、現時点で契約変更の必要性についてお答えすることは困難ですが、必要に応じて協議させていただきます。

	<p>用</p> <p>企画競争説明書 23 頁 第7条 業務の内容 (5) アジア開発銀行が実施する交通量調査及び需要予測への助言及び支援</p>	<p>デル(旅行目的別の4段階推計モデル)の構築は困難である。</p> <p>2) デイリーまたはリアルタイムの交通流動データ(携帯電話の位置情報等)は長期的な計画策定のためではなく別の目的(例えば)モビリティーマネジメント)で利用されることが想定される。</p> <p>3) ADB/DOTr の調査がそのような方向性で実施されるのであれば、本調査(長期的な計画)では使いにくい可能性が高い。</p> <p>4) 調査遂行上、安全側で考えるならば、交通調査(長期計画策定のための)は ADB/DOTr 調査とは別途行うべきと思量される。</p> <p>以上に鑑み、改訂 RD にて日本側の対応が必要となれば、変更契約もありうるとの前提で提案してよろしいでしょうか。</p>	
10	<p>企画競争説明書 20 頁 第3章 特記仕様書案 第6条 実施方針及び留意事項 (8) ジェンダー及び交通弱者の観点を考慮したマスタープラン策定</p> <p>企画競争説明書 23 頁 第7条 業務の内容 (6) 「マニラ大首都圏鉄道開発マスタープラン」の策定</p>	<p>企画競争説明書に対するクラリフィケーションミーティングを要望します。</p> <p>第7条(6)では 1:100,000 スケールのマスタープランを作成することとしています。</p> <p>一方、企画競争説明書の第6条(8)の記載は 1:2,000 程度の検討を期待しているように読み取れ、矛盾が危惧されます。</p> <p>1:100,000 スケールでは影響家屋数・世帯数などは推計できません。</p>	<p>第6条(8)は、1:100,000 スケールのマスタープラン策定時にジェンダー及び交通弱者の観点を、考慮頂くことを求めるものであり、影響家屋数等の推計を求めるものではありません。</p> <p>なお、セミナー・ワークショップにおいても、ジェンダー等に関する事項を取り入れて頂くことを想定しています(第6条(10)に記載のとおり)。</p>

<p>11</p>	<p>企画競争説明書 21 頁 第3章 特記仕様書案 第6条 実施方針及び留意事項 (9) 環境社会配慮(戦略的環境アセスメント(SEA)の適用)</p> <p>企画競争説明書 29 頁 第4章 業務実施上の条件 (2) 業務量目途と業務従事者構成案 2) 業務従事者の構成案 ・環境社会配慮 ・合意形成(戦略的環境アセスメント)</p>	<p>環境社会配慮の業務従事者が、上位計画における事業の検討段階でなすべき「合意形成(戦略的環境アセスメント)」も行き、SEA を適用した環境社会配慮を一貫して行う方が作業効率という観点からは良いのではないかと考えられますが、業務従事者構成において、これら役割を分けた経緯や理由があれば、教えて頂きたいです。</p>	<p>関係者の合意形成が、本プロジェクトを着実に遂行する上で重要であることに鑑み、合意形成を担当する業務従事者の配置を想定しておりますが、業務従事者の構成については、業務内容等を考慮の上、最適と考える構成(及び格付)をプロポーザルで提案頂いて差支えありません。</p>
<p>12</p>	<p>企画競争説明書 21 頁 第3章 特記仕様書案 第6条 実施方針及び留意事項 (9) 環境社会配慮(戦略的環境アセスメント(SEA)の適用)</p>	<p>合意形成の対象、意思決定のヒエラルキーを想定されていますでしょうか。</p>	<p>本プロジェクトは環境社会配慮カテゴリが「B」であるため、「国際協力機構 環境社会配慮ガイドライン」(2010 年 4 月)に基づいた、戦略的環境アセスメント(SEA)を実施頂くことを想定しております。関係省庁や上位のレベルでの合意形成はもちろんですが、MP のレベルや内容によって対象は変わるため、合理的な範囲で実施をお願いいたします。</p>
<p>13</p>	<p>企画競争説明書 21 頁・22 頁 第3章 特記仕様書案 第6条 実施方針及び留意事項 (10) 現地セミナー及びワークショップの開催について (11) 本邦研修の実施について</p>	<p>1) 現地ワークショップの開催場所、規模について想定があれば、お教えてください。 2) 本邦研修は、先方が希望していない上に、コロナ感染拡大の影響が読めないこともあり、実施は難しいと思慮いたしますが、提案する場合、本邦研修実施経費は別見積となるのでしょうか。</p>	<p>1) 開催場所は現地ホテル等のセミナールーム、規模は 50 人程度を想定しています。 2) 本見積に入れて下さい。</p>

14	<p>企画競争説明書 21 頁 第3章 特記仕様書案 第6条 実施方針及び留意事項 (10)現地セミナー及びワークショップの開催について 【フィリピン運輸省が希望するワークショップ内容】</p>	<p>交通需要予測に関する項目がメインで挙げられておりますが、ドラフト R/D によると、これらの項目は ADB 調査にて対応されるとの理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>交通需要予測については、ADB が実施予定ですが、本件受注者は需要予測に関するワーキンググループに参加し、必要となるデータの収集支援、需要予測モデルの開発支援及び助言等を実施することを想定しています(第6条(3)参照)。</p>
15	<p>企画競争説明書 22 頁 第3章 特記仕様書案 第6条 実施方針及び留意事項 (12)広報活動 (14)ローカルコンサルタントの活用(現地再委託および特殊庸人可) ・広報活動に係る業務</p> <p>企画競争説明書 29 頁 第4章 業務実施上の条件 (2)業務量目途と業務従事者構成案 2)業務従事者の構成案 ・広報 (3)現地再委託 ・広報活動に係る業務</p>	<p>国内再委託も可能でしょうか。</p>	<p>可能です。</p>
16	<p>企画競争説明書 22 頁 第3章 特記仕様書案 第6条 実施方針及び留意事項 (14)ローカルコンサルタントの活用(現地再委託および特殊庸人可)</p>	<p>国内再委託は可能でしょうか。 本邦から有識者を招聘するにあたり、通訳費は計上可能でしょうか。</p>	<p>両者とも可能です。</p>

	・ワークショップ／セミナー等開催に係る業務		
17	企画競争説明書 23 頁 第3章 特記仕様書案 第7条 業務の内容 (4)他国の鉄道プロジェクトのタイムライン及びコスト調査	この調査を行う要員の記載が企画競争説明書に見当たりません。「現地情報収集」の再委託に含めてよろしいでしょうか。	差支えありません。
18	企画競争説明書 23 頁 第3章 特記仕様書案 第7条 業務の内容 (5)アジア開発銀行が実施する交通量調査及び需要予測への助言及び支援	ADB 調査の実施及び需要予測モデルの提供スケジュールについてご教示ください。	ADB による交通調査等は、現時点で 2022 年1月～6月を想定していますが、新型コロナウイルスの影響等により遅延することも想定されます。
19	企画競争説明書 23 頁 第3章 特記仕様書案 第7条 業務の内容 (6)「マニラ大首都圏鉄道開発マスタープラン」の策定	「なお、マスタープランの縮尺については、1:100,000(十万分の1)を想定している。」とありますが、マニラ首都圏、クラーク地区、その他について、同じ縮尺でのマスタープラン作成との理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりですが、詳細については、フィリピン運輸省と協議の上、決定することを想定しています。
20	企画競争説明書 23 頁 第3章 特記仕様書案 第7条 業務の内容 (6)「マニラ大首都圏鉄道開発マスタープラン」の策定 ②マスタープランには、下記(ア)～(カ)に関する事項を必ず含むこと。(以下略) (ア)想定される鉄道計画 (ウ)概算事業費	業務従事者の構成に、運行計画、線形軌道計画、土木施設計画、変電所計画の鉄道技術専門家の配置が示されているものの、左記項目には、どの程度の技術的検討を行うのか、その期待成果の程度が示されていないため、ご教示頂けないでしょうか。 マスタープラン上で定義される積算の LoD100 とは具体的にどの程度の精度でしょうか。事例をご教示願います。	第7条(6)に記載のマスタープラン策定(1:100,000(十万分の1))に必要な技術的な検討をしていただくことを想定しています。なお、業務従事者の構成については、業務内容等を考慮の上、最適だと考える構成(及び格付)をプロポーザルで提案頂いて差支えありません。 LoDについては、設計段階におけるLoD100を想定していますが、詳細については、フィリピン運輸省と協議の上、決定していくことを想定して

			います。
21	<p>企画競争説明書 23 頁 第3章 特記仕様書案 第7条 業務の内容 (6)「マニラ大首都圏鉄道開発マスタープラン」の策定 (ア)想定される鉄道計画</p>	<p>「主として旅客輸送を対象とするが、必要に応じて貨客混載輸送、及び貨物輸送についても検討する。」とありますが、貨物を対象とするかどうかは、調査開始後に調査団が DOTr と協議後確定する予定でしょうか。 また提案時点では貨物も対象とする前提でよろしいでしょうか。</p>	ご理解のとおりです。
22	<p>企画競争説明書 29 頁 第4章 業務実施上の条件 (2)業務量目途と業務従事者構成案 2)業務従事者の構成案</p>	<p>交通マネジメント/ITS 担当が含まれておりますが、企画競争説明書 20 頁(6)にある DX の活用に関連し、想定されているポジションとの理解でよろしいでしょうか。</p>	ご理解のとおりです。
23	<p>企画競争説明書 29 頁 第4章 業務実施上の条件 (3)現地再委託 ・環境社会配慮調査に係る業務 ・現地情報収集に係る業務 ・ワークショップ／セミナー等開催に係る業務 ・広報活動に係る業務</p>	<p>左記の4項に加えて、以下の現地再委託が必要と思われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 土地利用調査、データ購入、データ入力費用 ● 交通調査・解析(サンプル率 2%とすれば 10~13 万世帯) ● ベンチマークスタディー <p>改訂 R/D にて日本側での対応が必要となった場合、変更契約は認められるでしょうか。</p>	現時点でお答えすることは困難ですが、必要に応じて協議させていただきます。

以上